

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	茨城県笠間市			代表者名	山口 伸樹
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	政策企画部デジタル戦略課	連絡先電話番号	0296-77-1101
担当者役職	係長	担当者氏名	井樋 さやか	連絡先E-mail	
住所	3091792 茨城県笠間市中央3-2-1				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	トップセミナー	事業名	第二次デジタル・トランスフォーメーション計画推進事業（経営層向けの人材育成）		
概要	デジタル人材育成において階層ごとに身につけるべき知識や立場に合った意識の醸成を実施するため、経営層を対象としたセミナーを開催する。意識・知識の調査から現状の分析結果のフィードバック、次年度以降のアドバイスを受ける。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成）				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	846	令和8年2月26日	フォローアップ	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年2月9日	支援・助言&フォローアップ(オンライン)	10時00分	11時30分	
			活動時間（分）	90	
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中村 祥子
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	豊富な経験と深い知見をもとに、アンケート結果から現状を的確に分析いただきました。管理職と現場職員の問題意識のギャップや中間層の課題など、組織が抱える問題点をわかりやすく言語化していただいた点が大変有益でした。また、丁寧なヒアリングを通じて現場の実態を深く理解した上で、業務フロー作成やコミュニケーションガイドラインの整備など、具体的な次のアクションをご提案いただきました。他自治体での実践事例も交えたアドバイスにより、漠然としていた課題に対して取り組むべき方向性が明確になりました。
アドバイザーへの要望事項	ありがとうございました。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	70人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	70	0	0
				その他(学生など)
				0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	これまでは担当者レベルに対してはBPR研修や動画研修などのプログラムを実施し、実務スキルの向上を図ってきた。しかし、業務がサイロ化されていることから担当者が組織を横断した根本的な業務改革を提案実行できず、局所的な業務改善に留まってきた。市役所全体で業務効率化やデジタル化を成功させるためには、経営層がDXの必要性をきちんと理解し、共通認識を持って協力し合いながら組織横断的に取り組む必要がある。現状では、そのための共通認識が醸成されておらず、戦略的なデジタル推進の妨げとなっていた。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	経営層がDXが必要な背景と現状とを正しく理解することで、DXを「自分事」と捉え、リーダーシップを発揮できる土壌を醸成することを目指す。具体的には、アドバイザーの助言を通じて経営層の共通認識を確立し、部局の垣根を越えた連携が必要な大規模な業務改革に対しても、適切に意思決定が行われる体制を構築する。これにより、現場の局所的な改善に留まっていたこれまでの状況を打破し、市役所全体で相乗効果を生むデジタル推進体制を構築する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	DXトップセミナーの開催、開催後のフォローアップ	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	これまで担当者レベルへの研修を中心に実務スキルの向上を図ってきたが、業務のサイロ化により組織横断的な改革には至らず、局所的な改善に留まっていた。今回の支援を通じて、経営層がDXの必要性と現状を正しく理解するための共通認識の醸成に向けた取り組みを開始することができた。特に、経営層がDXを「自分事」として捉えるための土壌づくりに着手できたことから、今後は本支援を契機として、部局の垣根を越えた連携と意思決定体制の構築を推進し、市役所全体で相乗効果を生むデジタル推進体制の確立を目指す。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
	講演会により幹部職員に業務見直しの重要性を強く認識していただくことができた。また幹部職員が業務変革を進める上での問題だと感じている点が可視化され、今後のアクションに関する基礎資料とすることができた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	具体的なアクションプランの策定、目指すべき体制の明確化	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	提出済	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場職員へのアンケートを実施し、管理職との問題意識のギャップを可視化する。</li> <li>・アンケート結果をもとに、笠間市として取り組む改革テーマを決定する。</li> <li>・職員間のコミュニケーションを促進し若手職員が動きやすい環境を整えるため、コミュニケーションガイドラインを検討する。</li> </ul>	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	トップ層の意識醸成及びDXに関する共通認識を得ることにより、横断的にBPRを推進できる組織体制を整える。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

掲載許可  掲載可

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

